

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	技術管理課長 川西敏英	電話番号	0852-22-5092
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	新技術活用支援事業		
目的	(1) 対象	しまね・ハツ・建設ブランド市場開拓事業補助金交付企業	
	(2) 意図	県外での取引件数を拡大する。	
事業概要	公共事業縮減による県内建設市場の縮減に対し、県内企業が開発した建設産業に関する新技術を積極的に全国へ進出させ、新規受注機会の開拓を図るための支援を行うものである。 これらの新技術は、工法・製品・材料等様々な形態であり、販路開拓には、その新技術に合わせたPR活動等が必要で、その費用の一部を補助することにより支援を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	目標値		515.0	532.0	549.0		件
		取組目標値						
	式・定義	実績値	536.0					
	式・定義	達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
	式・定義	達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	2,548	3,000
うち一般財源(千円)	2,548	3,000

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない。
---------------------	--------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

事務事業目的に対して、評価指標である県外実績は着実に増加している。
このことは、補助金交付企業が広告・宣伝、県外建設技術展等へ出展したことにより、認知度が向上することで県外にも普及し、販路拡大につながっていることを表している。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

実績は着実に増加している。
新規に交付した企業も実績を上げ、過去に交付した企業も一部を除いては順調に実績を伸ばしている。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
特になし
- ②困っている状況が発生している「原因」
特になし
- ③原因を解消するための「課題」
特になし

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

現制度を継続し、企業の販路開拓を支援する。

9. 追加評価(任意記載)

現状としては、現制度で概ね順調に実績を伸ばしている。
元々広告宣伝に関する予算をあまり持っていない企業もあり、補助金をきっかけに契約件数の増加につながることは、県内建設産業の活性化を図る上でも有益である。
引き続き、本制度により県内企業の支援を行う必要がある。